

令和5年7月25日

## 令和5年度大豆生育定期調査結果 No. 2（7月20日現在）

岩手県農業研究センター 県北農業研究所 作物研究室 (TEL 0195-47-1073 FAX 0195-49-3011)

### 1 気象経過（図1）

- 平均気温、最高気温、最低気温のいずれも、6月第5半旬以降平年並から高く経過した。
- 日照時間は、6月第5半旬と7月第4半旬に平年を下回ったが、それ以外は平年並から多かった。
- 降水量は、6月29日の大雨（69.5mm）により、6月第6半旬に平年よりかなり多かった。一方、7月第1半旬から第2半旬まで平年よりかなり少なく推移した。東北北部の梅雨入りは6月11日ごろ（速報値）であり、平年より4日早かった。また、梅雨明けは7月22日ごろ（速報値）であり、平年より6日早かった。

### 2 生育概況（写真1、表1）

- 7月20日時点の生育は主茎長が平年差+9.3~+10.8 cm、主茎節数が+1.4~+1.7節となり、平年を上回った。また、分枝数は平年差-0.1~+1.1本/株となり、平年並からやや多かった。
- 地上部乾物重は平年比116~130%となった。



写真1 各品種の生育状況（7月20日撮影）

表1 各品種の生育調査結果

品 種	播種年次	出芽に要した日数	6月20日 <sup>※1</sup>			7月20日 <sup>※2</sup>			
			主茎長 (cm)	主茎節数 (節)	地上部乾物重 (g/m <sup>2</sup> )	主茎長 (cm)	主茎節数 (節)	分枝数 (本/株)	地上部乾物重 (g/m <sup>2</sup> )
	<b>R5</b>	<b>8</b>	<b>11.4</b>	<b>3.8</b>	<b>9.5</b>	<b>49.9</b>	<b>12.1</b>	<b>3.0</b>	<b>154.0</b>
ナンブシロメ	平年値	7	11.0	3.5	9.1	40.6	10.6	2.2	125.2
	差・比	+1	+0.4	+0.3	104%	+9.3	+1.5	+0.8	123%
	<b>R5</b>	<b>8</b>	<b>10.1</b>	<b>3.4</b>	<b>12.6</b>	<b>46.1</b>	<b>11.8</b>	<b>2.5</b>	<b>203.2</b>
シュウリュウ	平年値	8	8.5	3.3	11.7	35.3	10.4	1.4	156.4
	差・比	0	+1.6	+0.1	107%	+10.8	+1.4	+1.1	130%
	<b>R5</b>	<b>8</b>	<b>10.0</b>	<b>3.4</b>	<b>9.8</b>	<b>45.3</b>	<b>11.9</b>	<b>1.6</b>	<b>161.8</b>
リュウホウ	平年値	8	7.3	3.2	9.2	34.5	10.2	1.7	140.0
	差・比	0	+2.7	+0.2	106%	+10.8	+1.7	-0.1	116%

※1 6月20日調査の平年値：ナンブシロメとシュウリュウがR1年とR2年を除くH28～R4年の5ヵ年平均、リュウホウはH28年(作付け無し)、R1年、R2年を除くH27～R4年の5ヵ年平均。R1年とR2年は調査日が異なるため平年値から除外

※2 7月20日調査の平年値：H30～R4年の5ヵ年平均

### 3 耕種概要

播種日：5月25日

栽植密度：14,286株/10a (畦幅70cm、株間10cm、1株1本仕立て)

施肥量 (kg/10a) : N 3.0-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub> 9.0-K<sub>2</sub>O 7.5

堆肥：おがくず牛ふん堆肥 2,000kg

雑草防除：プロールプラス乳剤 薬液500mL/10a、希釈水量100L/10a (播種後出芽前)

病害虫防除：クルーザーMAXX 8mL/乾燥種子1kg (播種前、塗沫処理)

トレボン乳剤 1,000倍 (7月4日)

中耕培土：7月6日

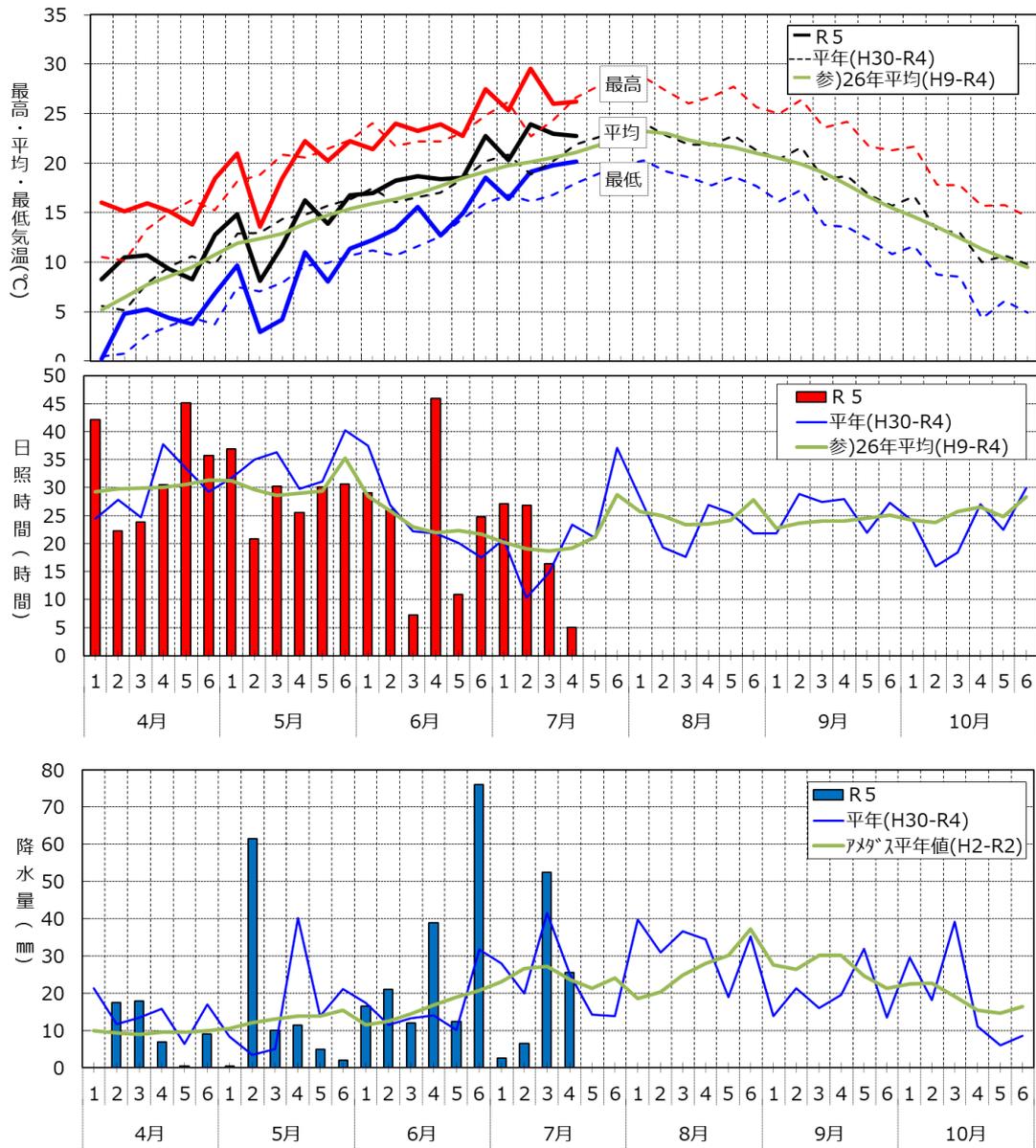


図1 令和5年 県北農業研究所における半旬別気象経過図（7月第4半旬まで）

※ 気温と日照時間は県北農業研究所気象観測値、降水量は軽米アメダス観測値

※ 参考データとして、気温と日照時間の過去26ヵ年（H9～R4年）平均値、降水量の過去30ヵ年（H2～R2年）平均値も併記